

2021年4月28日

各位

会社名 マクセルホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 中村 啓次
(コード番号: 6810 東証第一部)
問合せ先 経営戦略部
(TEL. 03-5715-7061)

**特別損失及び特別利益の計上並びに
2021年3月期累計期間の連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ**

当社は、2021年3月期決算において、下記のとおり特別損失及び特別利益を計上しました。また、これに伴い2021年1月29日に公表した2021年3月期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、併せて下記のとおりお知らせします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 連結決算

① 減損損失

当社の国内外の連結子会社において、固定資産の減損損失合計4,742百万円を計上しました。

② 事業構造改善費用

2021年3月29日付「連結子会社における一部事業の縮小に関するお知らせ」にて公表のプロジェクト事業の縮小に伴う損失4,023百万円、2021年1月13日付「早期退職支援制度の実施結果及び特別損失の計上に関するお知らせ」にて公表の早期退職支援制度の実施に伴う特別退職金2,233百万円を含む、合計7,319百万円を計上しました。

③ 訴訟関連費用

当社連結子会社における、知的財産権の保護・活用に関する活動の中で、他社による侵害に対する正当な対価に伴う費用6,643百万円を含む、合計7,067百万円を計上しました。

(2) 個別決算

① 関係会社株式評価損

当社が保有する当社の連結子会社であるマクセルイズミ株式会社の株式について、実質価額の低下に伴い関係会社株式評価損 5,335 百万円を計上しました。

なお、上記の個別決算における特別損失については、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 特別利益の計上について

(1) 連結決算

① 固定資産売却益

2021年2月25日付「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」にて公表の土地譲渡に伴い発生した譲渡益 6,436 百万円を含む、合計 6,610 百万円を固定資産売却益として計上しました。

② 移転補償金

当社の国内外の連結子会社において、事業所移転を行ったことに伴う移転補償金合計 1,339 百万円を計上しました。

3. 業績に与える影響

上記の特別損失及び特別利益につきましては、本日公表の「2021年3月期 決算短信[日本基準](連結)」の業績に反映していますので、今後の業績に与える影響はありません。

4. 2021年3月期累計期間の連結業績予想と実績値の差異

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 137,000	百万円 3,500	百万円 △1,000	円 銭 △20.22
今回実績 (B)	139,055	3,806	△9,373	△189.51
増減額 (B-A)	2,055	306	△8,373	-
増減率 (%)	1.5	8.7	-	-
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	145,041	△137	△10,487	△205.23

5. 連結業績予想と実績値に差異が生じた理由

前回発表予想においては、未確定であった特別損失について一定額を含めて予想値を算出しておりましたが、上記の「1. 特別損失の計上について」のとおり、プロジェクター事業の縮小に伴い発生する損失を計上したことに加え、新たに国内外の連結子会社において固定資産の減損損失を計上したこと及び訴訟関連費用を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を下回る結果となったものです。

以 上